

The background features several overlapping, semi-transparent circles in vibrant colors: purple, orange, pink, and green. The AWS logo is positioned on the left side of the text.

aws SUMMIT  
ONLINE

JAPAN | MAY 11-12, 2021

CUS - 46

# データサービスの多様化と、 オルタナティブデータ活用の最新動向

保坂 豪

株式会社東京証券取引所  
情報サービス部  
マーケットデータ  
サービス企画グループ 課長

山内 康弘

株式会社QUICK  
サービスプロダクト本部  
副本部長

笠島 久司

野村アセットマネジメント株式会社  
資産運用先端技術研究部  
デジタル企画グループ  
シニア・マネージャー

白熊 ルネ

野村アセットマネジメント株式会社  
資産運用先端技術研究部  
先端技術研究グループ  
シニア・データエンジニア



CUS - 46

# データサービスの多様化に向けた 日本取引所グループの取組み

保坂 豪

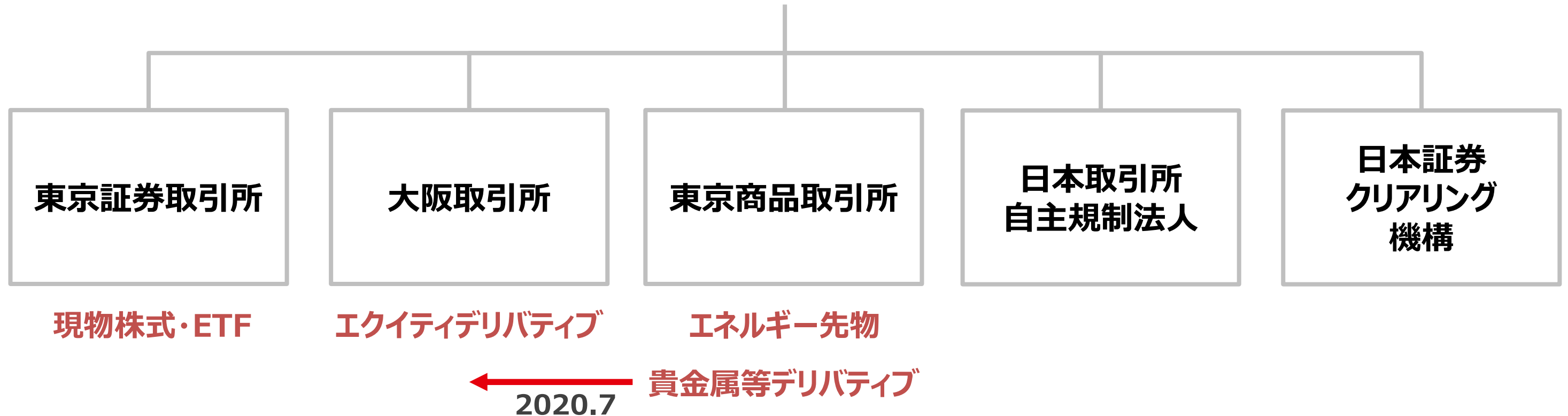
株式会社東京証券取引所 情報サービス部  
マーケットデータサービス企画グループ 課長





## 株式会社日本取引所グループ（Japan Exchange Group, Inc.）

- 1949年4月：東京証券取引所設立
- 2013年1月：東京証券取引所と大阪証券取引所の経営統合（日本取引所グループの発足）
- 2019年10月：東京商品取引所を子会社化。総合取引所化。



# 経営目標は・・・

- オルタナティブデータをはじめとする、データを活用した投資意思決定の高度化や業務オペレーションの効率化・高度化に対する機運の高まりを受け、新たなコンテンツの配信に着手。
- フィンテック企業やデータサイエンティストなどの新たな顧客層の獲得に向けた取り組みも併せて実施。



第三次中期経営計画（2019-2021）

## 重点戦略Ⅲ－具体的施策

- 新たなパートナーシップを実現する2つのプログラムを活用し、データサービスの多様化・次世代化を推進
- 金融審議会専門グループの提言を踏まえ、投資対象としての機能性を備えたTOPIXに移行

### 1 技術革新とパートナーシップを活用した新しい情報サービスの創造

UPDATED

- オープン・イノベティブなフレームワークの活用による新サービスの創出と新しい顧客層の開拓
  - ◆ 新たなコンテンツの配信に向けた実証実験プログラム [2019年4月～]
  - ◆ 新たな顧客層の開拓に向けたデータサンドボックスプログラム [2019年8月～]
- 投資家ニーズのリサーチとそれに即した情報配信コンテンツの提供

### 2 API\*配信・クラウド配信を実現する次世代情報配信システムの構築

- API配信・クラウド配信を実現する次世代情報配信システムの構築
- 次世代システムによるサービス多様化を活かした新たな顧客層の獲得

\* API = Application Programming Interfaceの略。第三者がシステムへ直接接続し、機能利用できるプログラムのことをいう。外部企業との安全なデータ連携を可能とする技術であり、オープン・イノベーションを実現していくためのキーテクノロジーの一つ

# 新たなサービスの創出に関する取り組み

新たなデータ提供を通じ、新たな投資機会やビジネスの創出、オペレーションの効率化及びコストの削減等に寄与。  
新たなデータの情報配信基盤にアマゾン ウェブ サービス（AWS）を活用中。

## 1. JPXの社内データの活用

### (1) 東証APIサービス（2021年2月1日本番化）

- 適時開示情報及び株価\*をWeb-API形式で配信するサービス。



### (2) 東証適時開示コーパス提供サービス（2020年9月本番化）

- 機械翻訳ベンダーやIR翻訳会社向けに、適時開示資料から作成した対訳コーパスを提供。



### (3) 売買内訳データ提供サービス（2020年4月本番化）

- 銘柄別の日次の売買高・売買代金を、信用取引や空売りの利用有無に応じて細分化したデータ。



### (4) オルタナティブデータ提供サービス（2019年6月本番化）

- 金融機関やマーケットメイカー向けに、arrowhead・J-Gateのサーバ利用状況、処理件数等のデータや、J-GATEの発注情報および約定情報を注文・約定の発生ごとに記録したデータを事後的に提供。



\*東証が相場報道システムから配信した後、20分以上経過した約定値段情報等

## 2. 外部パートナーとの連携

### (1) 決算短信のHTML化に関する共同実証実験（2021年12月開始予定）

- 宝印刷及びプロネクサス（50音順）のご協力を賜り、上場会社の決算短信及び四半期決算短信並びに上場REITの決算短信及び中間決算短信をHTML形式で開示可能とする実証実験を実施。



### (2) セキュリティファイナンスデータ（2020年11月本番化）

- IHS Markitと連携し、機関投資家・金融機関向けに、IHS Markit が集計した在庫株式及び貸付可能株式のデータと東証が集計した売買内訳データを組み合わせて提供。



### (3) イベントトランスクリプト提供サービス（2020年6月本番化）

- SCRIPTS Asia Inc.と連携し、機関投資家・金融機関向けに、SCRIPTS Asia Inc.が作成する、日本及びアジアの上場会社による投資家向けイベントの書き起こしデータを提供



### (4) 証券データの利活用に向けた実証実験プログラム（2019年4月開始）

- 証券市場の発展に資することが期待される新たなコンテンツについて、その利用可能性や技術的な課題の検証を行う実証実験プログラムを設立。



## 売買内訳データとは

- 上場銘柄の日次の売買高・売買代金を、信用取引や空売りの利用有無に応じて細分化（売りは6区分、買いは3区分）したデータ。
- 証券会社の顧客への注意喚起、与信管理の高度化などへの利用を期待。



## 売買内訳データの活用事例

- 売買内訳データを用いた分析を社内で行い、JPXワーキングペーパーとして公表。
- 活用事例の1つとして、週次で公表している「銘柄別信用取引週末残高」を、売買内訳データを用いて日次で推計し、推計精度を検証。
- 前週末の信用取引残高に、売買内訳データの日々の新規信用取引を加減することで当該週末の信用取引残高を推計し、実際の信用取引残高と比較し、残高の誤差を銘柄ごとに計算した。誤差率は以下のように定義した。



$$\text{誤差率} = \frac{\text{売買内訳データで推計した週末残高} - \text{実際の週末残高}}{\text{実際の週末残高}}$$

- 推計の結果、買い残高は中央値が2.17%、売り残高は中央値が8.30%の誤差率で推計できた。買い残高の誤差率は第三四分位数でも3.25%であり比較的高い精度で売買内訳データで推計できることがわかった。

買い残高、売り残高の誤差率の中央値の分布

	買い残高の誤差率の中央値	売り残高の誤差率の中央値
平均	2.95%	12.62%
標準偏差	5.21%	49.78%
最小値	-33.54%	0.00%
第一四分位数	1.57%	3.96%
中央値	2.17%	8.30%
第三四分位数	3.25%	15.30%
最大値	204.15%	1978.95%

# 新たな顧客層の開拓に関する取り組み

様々なプロジェクトや料金体系の見直しを実施し、個人・フィンテック企業・国内外の金融商品取引業者等による新たなサービス創出や取引を促進。

## (1) J-Quants (2021年2月)

- データサイエンスに興味のある個人をターゲットに、ITやデータ分析を活用した取引を促進するための環境を提供する実証実験プロジェクトを立ち上げ。



## (2) 約定値段情報におけるAPI課金体系の追加 (2021年2月)

- 東証APIサービスの導入に合わせ、情報ベンダー等が約定値段情報を外部配信する場合の料金体系に、従量料金制を追加。約定値段情報を取得した銘柄数及び頻度に応じて、利用料が決定される。



## (3) データサンドボックスプログラム (2019年7月)

- 証券データを用いた新たなサービス創出を業界横断的に支援するための枠組み。一定期間、無料又は割引料金でデータの利用を可能とするもの。サービス創出フェーズにおけるデータの利用ハードルを下げ、サービス創出のための研究開発やプロトタイプ作成等を支援する。10社のパートナー企業とともに運営。

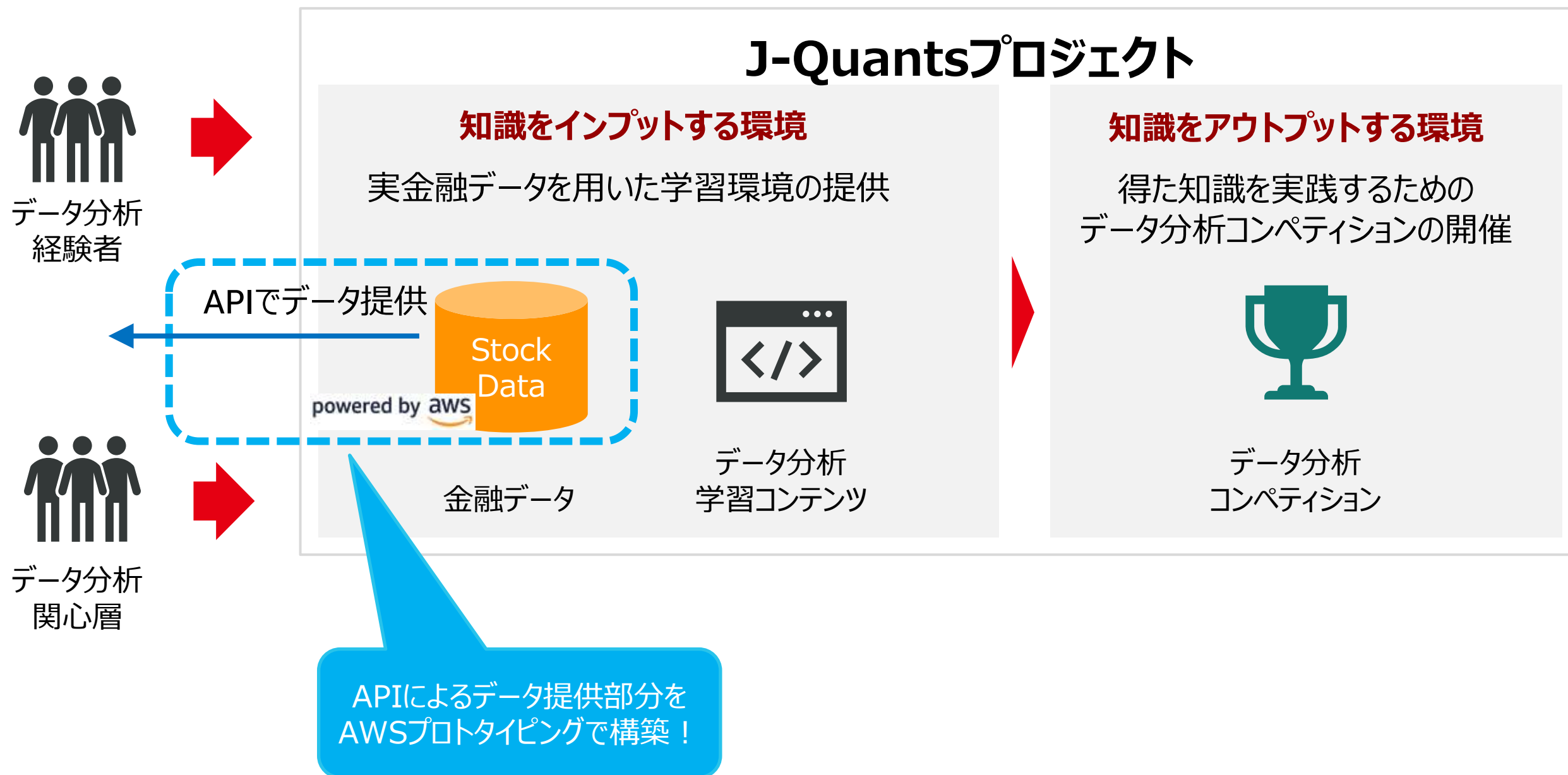


## (4) 相場情報料プロモーション料金 (2017年1月)

- 国内外の金融商品取引業者やフィンテック系の会社などが新規にリアルタイム相場情報の配信を希望される場合、一部のリアルタイム相場情報を、2年間のプロモーション料金でご利用いただけるプログラム。



データサイエンスに興味のある個人をターゲットに、ITやデータ分析を活用した取引を促進するための環境を提供する実証実験プロジェクトを立ち上げ。2021年1月29日（金）から開催しています。是非ご参加ください！



# 社員のDXへの挑戦をサポートする仕掛け

## 社員向けプログラミング研修制度の導入

- プロトタイプを作りたい人のためにプログラミング研修制度を導入。(全額社費負担)
- 100名超の社員が受講し、約75%はシステム部門以外からの受講

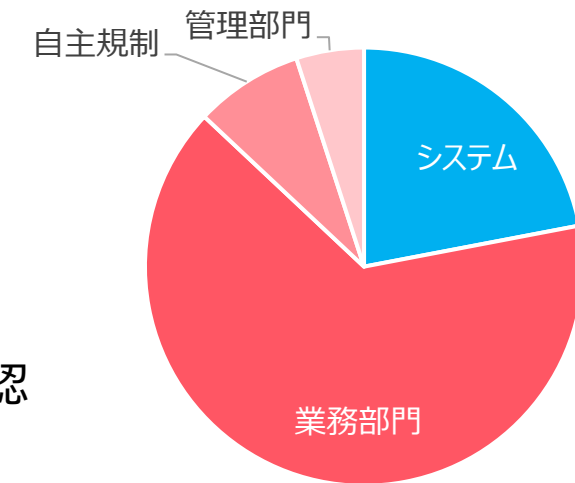
## AWSプロトタイピングの活用

- AWSを活用したアプリケーション開発を検討するユーザー向けに、プロトタイプ開発を支援するAWSのサービス。
- プロトタイピング作成することで、本格的な開発前に、重要な機能の実現方式の確認、ネックになる部分を確認
- 前述のイベントトランスクリプト提供サービス及びJ-Quantsプロジェクトの開始前に活用させていただいた。

## デジタルEUCサポートスキーム

- ユーザ部門が開発するシステムを安全に本番リリースするための仕組みを導入
- セキュリティや本番運用といった業務から遠い部分をシステム部門がサポート

社員向けプログラミング研修の受講者所属部門



デジタルEUCサポートスキームが提供するもの

開発・運用基盤	AWS共通基盤 (J-WS)
運用ルール面	利用ガイドライン
ソフト面	システム部門・子会社によるサポート

“ここを押さえれば大丈夫”をサポート  
「機動性・利便性」と「安全性」の両立



### 【お問い合わせ先】

株式会社 東京証券取引所  
 情報サービス部 サービス企画チーム  
 inf\_dev@jpx.co.jp

### 【本資料に関する注意事項】

- 本資料は情報提供のみを目的としたものであり、投資勧誘や特定の証券会社との取引を推奨することを目的として作成されたものではありません。
- 万一、本資料に基づき被った損害があった場合にも、(株)日本取引所グループは責任を負いかねます。
- 本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の完全性を保証しているものではありません。
- また、本資料は、株式等について平易に解説・記述しておりますが、全ての内容を網羅したものではありません。
- 本資料に記載されている内容は将来予告なしに内容が変更される可能性があります。内容等について、過去の情報は実績であり、将来の成果を予想するものではありません。
- 本資料のいかなる部分も一切の権利は(株)日本取引所グループに属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ無断で複製、または転送等はできません。
- 資料には、講演者の個人的意見も含まれておりますので、全てが(株)日本取引所グループの公式見解ではありません。

# Thank you!

保坂 豪

データサービスの多様化に向けた  
日本取引所グループの取組み



CUS-46

# 市場におけるデータ分析を活性化、 QUICKが仕掛ける新しいデータ ビジネス戦略

山内 康弘

株式会社QUICK サービスプロダクト本部 副本部長





# 市場におけるデータ分析を活性化、 QUICKが仕掛ける新しいデータビジネス戦略

株式会社QUICK

※本資料に記載の会社名および製品名は各社の商号または商標もしくは登録商標です。  
※本資料に記載の画面例等はサンプルです。記載の内容は今後変更の可能性があります。

## 1. 会社の概要・自己紹介

### <会社概要>

1971年の創業以来、日本の証券・金融市場を支える情報インフラとしての役割を担う。  
お陰様で今年で50周年を迎えます。

証券会社や金融機関をはじめ、機関投資家や一般事業会社、個人投資家の方々まで、  
幅広いお客さまの意思決定をサポートすることが私たちの使命です。公正・中立な立場  
から、付加価値の高いグローバルなマーケット情報をお届けしています。

### <自己紹介>

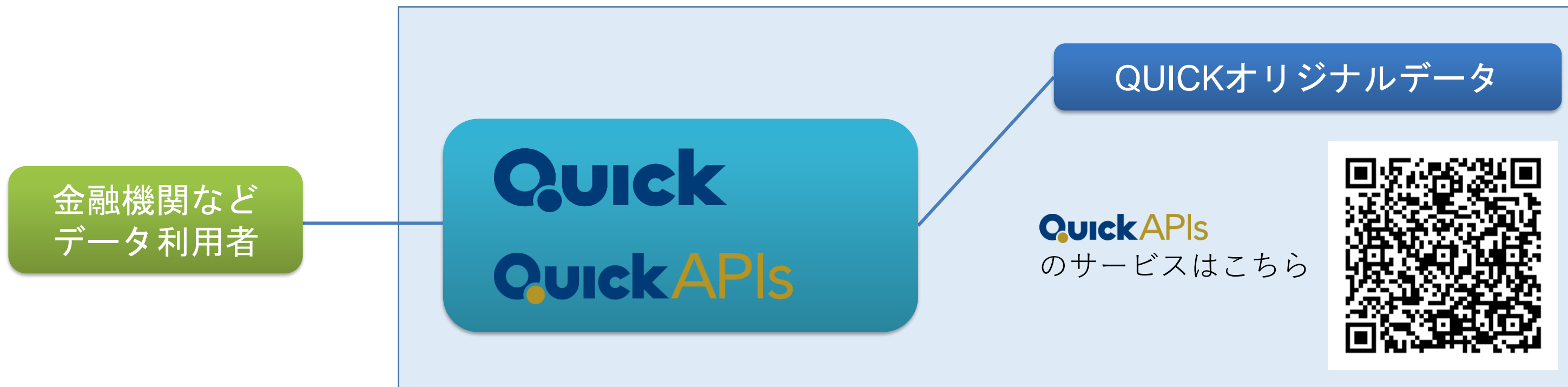
1992年株式会社QUICK入社。

インフラシステムの開発、サービス基盤開発を経て、

2015年-2016年 サービス開発本部部長。

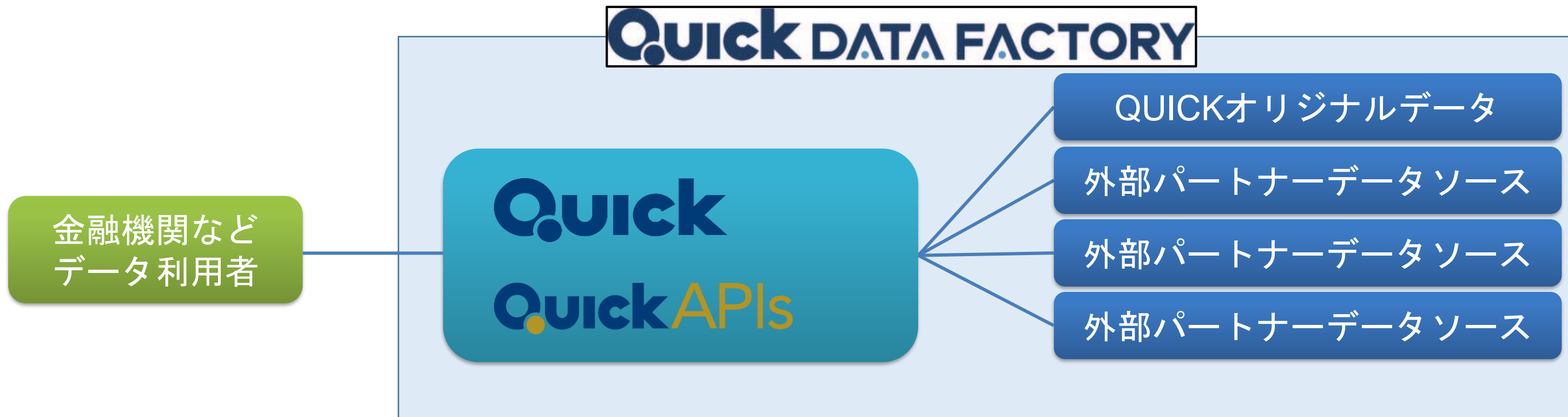
2017年からサービスプロダクト本部副本部長としてデータビジネスに従事。

## 2. オルタナティブデータへの取り組み及びAWSの活用



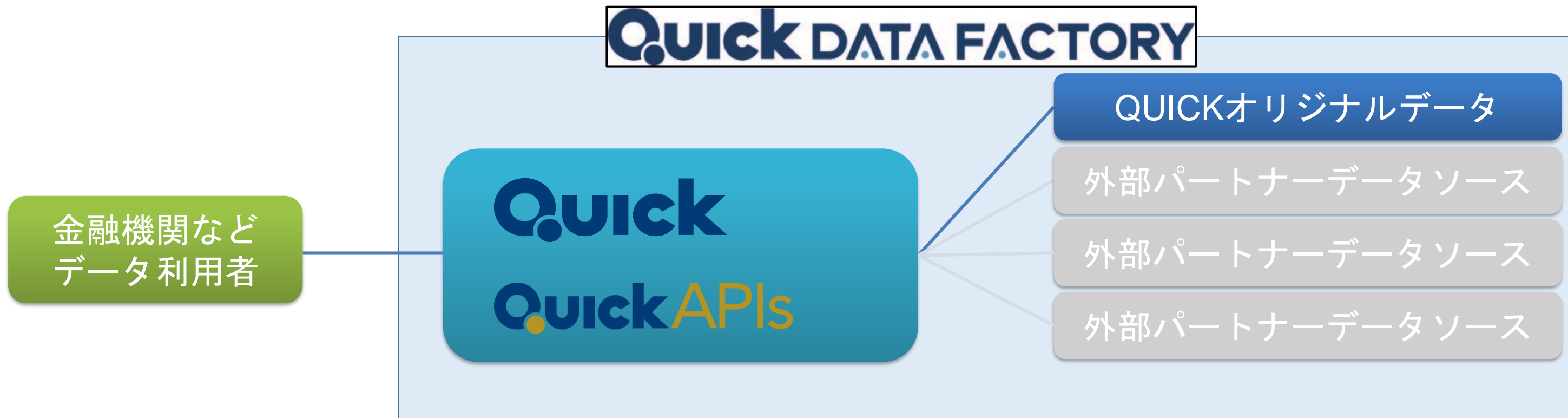
QUICK APIsを始めとしたデータ提供サービスにて従来の伝統データの他にQUICKオリジナルのオルタナティブデータデータを提供

## 2. オルタナティブデータへの取り組み及びAWSの活用



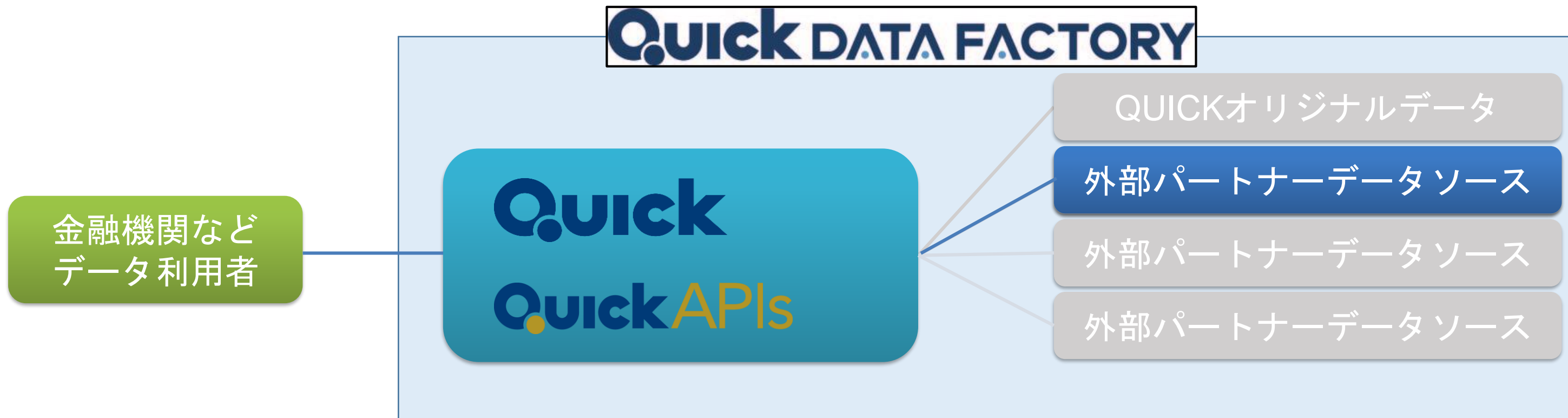
オルタナティブデータ提供サイト  
「QUICK Data Factory」サービス開始（2020年12月9日）

## 2. オルタナティブデータへの取り組み及びAWSの活用



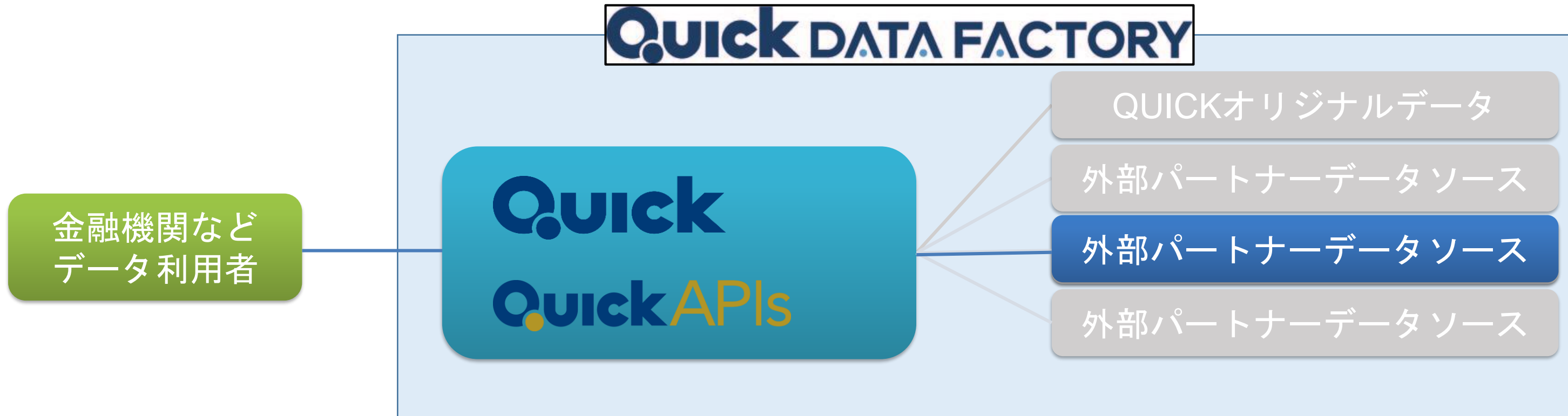
QUICKオリジナルのオルタナティブデータを継続的に発信します

## 2. オルタナティブデータへの取り組み及びAWSの活用



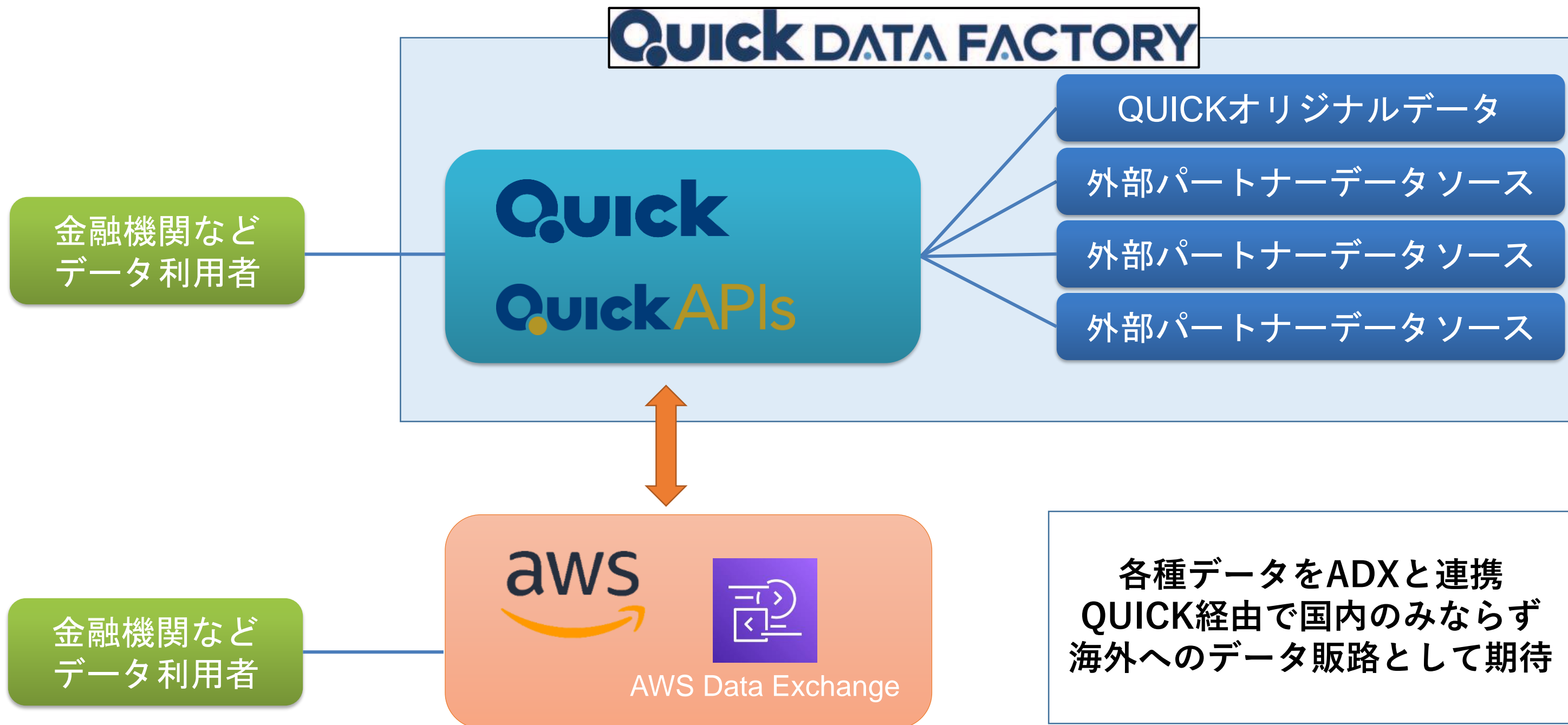
外部パートナー様が保有するオルタナティブデータの  
販売プラットフォームとしてご活用いただけます

## 2. オルタナティブデータへの取り組み及びAWSの活用



外部パートナー様が持つデータを分析・加工し金融機関の資産運用  
ビジネスに資するデータへ  
QUICK Data Factoryでデータ販売

## 2. オルタナティブデータへの取り組み及びAWSの活用



### 3. QUICK Data Factory誕生の背景とオルタナティブデータへの挑戦

- <日本におけるオルタナティブデータの現状>
- 欧米のように、オルタナティブデータの利用が広がることを期待
  - 日本国内では、資産運用の世界でのオルタナティブデータの利用は、少ないのではないかと？
  - 日本で収集されたオルタナティブデータは、まだまだ少数



QUICKが日本発のオルタナティブデータを牽引  
金融機関の資産運用ビジネスへ貢献

### 3. QUICK Data Factory誕生の背景とオルタナティブデータへの挑戦

#### < QUICK Data Factoryサービス概要 >

- ▶ QUICKオリジナルのオルタナティブデータを提供
  - ⇒ 今後も継続的にデータを追加します
  
- ▶ 外部パートナー様のデータを提供
  - ⇒ 自社データの販売という新たな収益機会を得られます
  
- ▶ 外部パートナー様が持つデータを分析・加工し金融機関の資産運用ビジネスに資するデータへ高度化し提供
  - ⇒ QUICKの豊富な知識によりデータを高度化し販売できます
  
- ▶ 各種データをアグリゲートすることで新たなオルタナティブデータを創出します

### 3. QUICK Data Factory誕生の背景とオルタナティブデータへの挑戦

A promotional banner for QUICK Data Factory. The background is dark blue with financial charts and data points. The text is white and orange. At the top, the URL 'https://corporate.quick.co.jp/data-factory/' is displayed. Below it, the title 'QUICK DATA FACTORY' is written in large, bold letters. The main text describes the service as a 'special street for apps and data' where various financial apps and data can be purchased and sold through the QUICK platform. It also mentions services like sales support, data analysis, and collaboration. At the bottom, there is an orange 'Get Started' button with a right-pointing arrow and a QR code on the right side.

<https://corporate.quick.co.jp/data-factory/>

# QUICK DATA FACTORY

QUICK Data Factoryは、QUICKや共創企業のサービスコンテンツを揃えた「アプリとデータの特選街」です。

様々な金融向けアプリやデータの購入が可能だけでなく、皆さまがQUICKのプラットフォームを通してアプリやデータの販売が可能となる新しいサービスです。

データ、アプリのご販売の企画や支援、当社サービスとの連携や、データ分析加工による高度化など様々な協業が可能です。ぜひご相談ください。

Get Started



## 4. QUICKオリジナルのオルタナティブデータのご紹介

### QUICKが保有する独自データ（一例）

	項目	蓄積期間	情報更新頻度
①	QUICK コンセンサス	遡及修正なし 2014年12月～ 遡及修正あり 2005年1月～	日次
②	月次売上高	2016年6月～	日次
③	企業開示速報	2016年後半～	随時
④	QSSレポート	株式: 1994年4月～ 外為: 2015年1月～ 債券: 1996年7月～	月次
⑤	QUICKライセンスニュース	直近390日分	随時
⑥	NQN ニュース	2013年9月5日～	随時
⑦	テーマ株	直近データのみ	日次
⑧	株主優待	直近データのみ	日次
⑨	信用規制/逆日歩予測	2017年12月19日～	日次
⑩	アクセスランキング	2019年1月～	30分毎

## Qr1 アクセスランキング

### 概要:

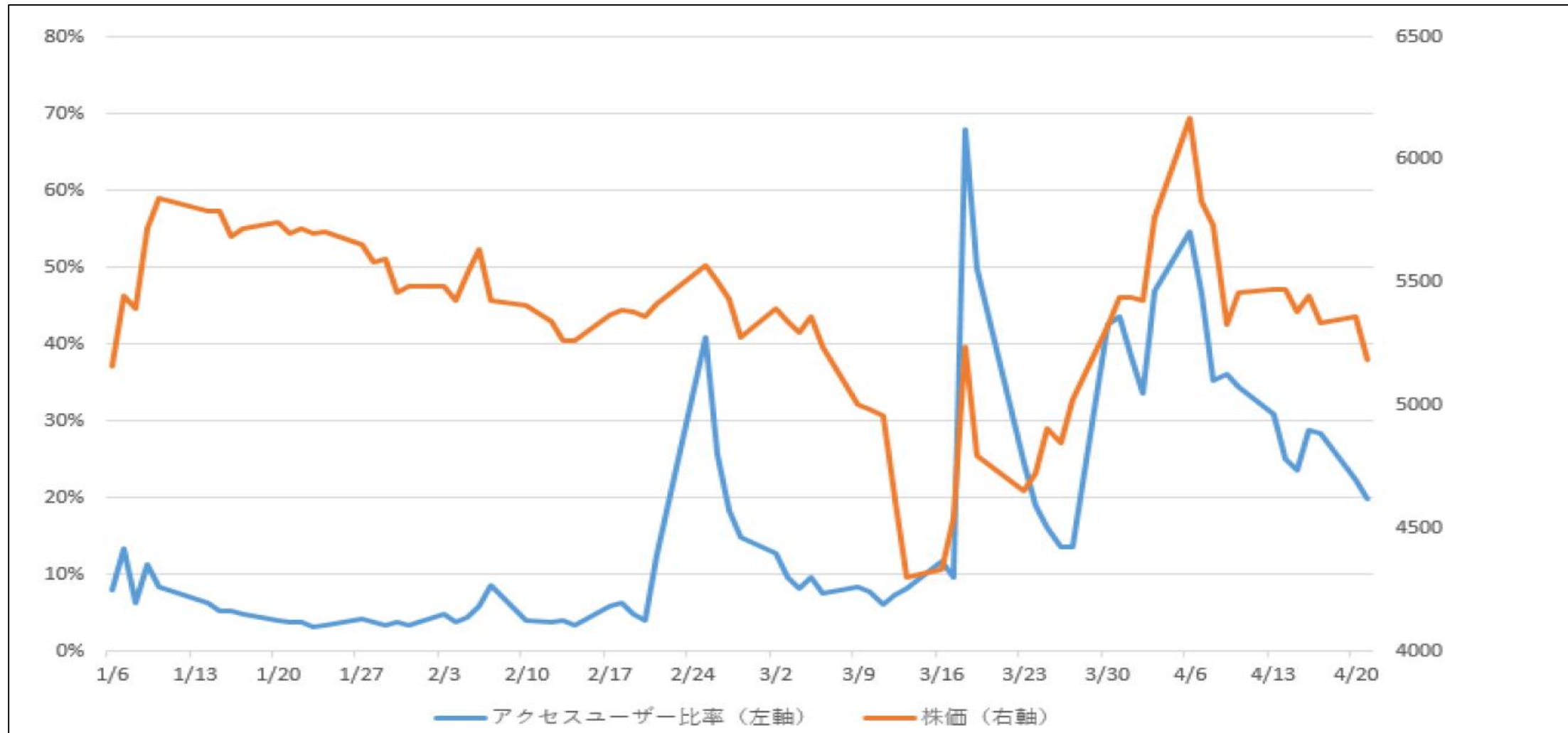
証券リテール分野で高いシェアを持つQUICKの金融情報端末「Qr1」の銘柄アクセスランキングデータです。個別銘柄のアクセスランキングから、市場の関心の動きをダイレクトに確認できます。30分毎更新のデータを使えば材料の出た銘柄を素早く発見することが可能。ウェブページ形式の「アクセスランキング」特設サイトでは日経平均やTOPIX500等に銘柄を絞ることができ、株価材料となったニュースも併せて表示しています。

カバレッジ: 国内上場企業  
履歴: 2019年1月以降  
更新頻度: 30分（6時～18時の毎時15分と45分頃に更新）  
日次

# ケーススタディー 1 (日次分析): 富士フィルムホールディングス (4901)

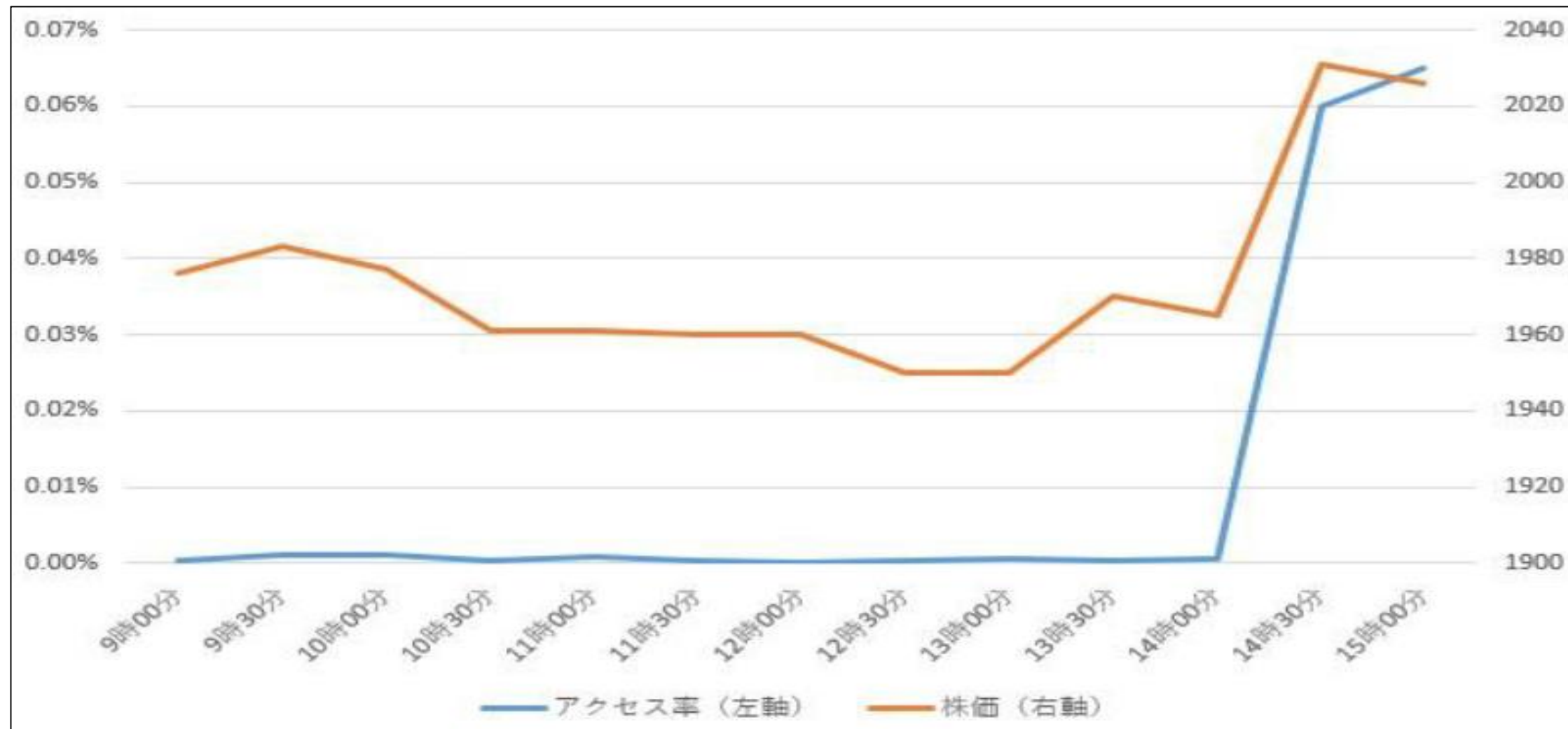


金融情報端末「Qr1」の銘柄別アクセス数の増減と株価の関連を分析。  
下図は富士フィルムホールディングス (4901) のアクセス数と株価の関係。新型コロナウイルスの感染拡大をうけ、富士フィルム傘下の製薬会社が開発した抗インフルエンザ薬「アビガン」への期待が高まっていた。こうした期待をうけ多くのQUICKユーザーが富士フィルム株に注目し、株価も上昇した。アクセス数はその株式への投資家の注目度の大きさを示しており、株価にどれほどの期待が織り込まれているかを測るバロメーターとして使えるのではないかと考える。



## ケーススタディー 2 (場中分析): 三井製糖 (2109)

日中のアクセス数の変化と株価の関係。三井製糖 (2109) の3月25日のアクセス数と株価の関係を30分ごとに描画したのが下のチャート。アクセスが14時~14時30分時点で急増していることがわかる。この銘柄は14時15分に三菱商事の子会社との経営統合が報じられ、株価が急騰した。14時18分~56分まで取引所が真偽確認のために売買停止措置を講じており、ユーザーの注目を集めた。アクセスランキングのデータを使えばこのような投資家の動向をいち早く知ることもできる。



## ケーススタディー3: 前日比アクセスランキング伸び率トップ20

以下のテーブルは2021/2/25から2021/2/26にかけてのアクセスランキング伸び率トップ20の銘柄である。

2/26(金) は日経平均が前日と比べ1202円下げた日であるが、これら伸び率の高い銘柄は日経平均が大幅に下げた場面でも株価は上昇している。

前日比 ランキング 伸び率	コード	社名	前日比 株価 騰落率	ニュース
1	4175	c o l y	—	<a href="#">「コリーの終値は8140円 初値を4%下回る(NQN)」(2/26)</a>
2	4885	室町ケミカル	—	<a href="#">「室町ケミカルの終値は1462円 初値を3%上回る(NQN)」(2/26)</a>
3	3662	イチム	24.69	「ストップ高 東証」(2/26)
4	3474	G-FAC	17.94	「ストップ高 東証」(2/26)
5	5542	報国鉄	13.21	「ストップ高 東証」(2/26)
6	5992	中発条	5.45	<a href="#">「株式分割、および株式の分割に伴う定款の一部変更に関するお知らせ」(2/26)</a>
7	6402	兼松エンジ	0.53	「昨年来高値更新 東証」(2/26)
8	1950	日本電設	-2.23	「昨年来安値更新 東証」(2/26)
9	4174	アピリッ	—	<a href="#">「アピリッの終値は6600円、初値比18%高 上場2日目(NQN)」(2/26)</a>
10	7863	平 賀	12.69	「昨年来高値更新 東証」(2/26)
11	9470	学研HD	0.51	<a href="#">「学研HD、公募増資などで最大94億円調達 借入金返済や設備投資に(NQN)」(2/26)</a>
12	5194	相模ゴム	1	「昨年来安値更新 東証」(2/26)
13	4929	アジュバン	7.09	「昨年来高値更新 東証」(2/26)
14	2612	かどや	0.12	「昨年来高値更新 東証」(2/26)
15	1780	ヤマウラ	0.21	「昨年来高値更新 東証」(2/26)
16	2375	キグワークス	6.82	「配当修正 8円(2021/10)」(2/25)
17	6912	菊水電	5.01	「上方修正：通期経常利益 (1.3億円 → 4.7億円)」(2/25)
18	2218	日糧パン	0	「昨年来高値更新 札証」(2/26)
19	4748	構造計画	5.39	「上方修正：通期経常利益 (14.7億円 → 17.4億円)」(2/25)
20	1964	中外炉	7.48	「昨年来高値更新 東証」(

## 決算スコア

### 概要：

企業が開示する決算や業績予想修正が、どの程度株価にインパクトを及ぼすかを統計的に算出した参考指標。決算や業績予想を発表した際の株価の反応は、発表内容の良し悪しだけでなく、市場の想定や織り込み度合いでも変わります。決算スコアは、売上高など主要な収益項目について（1）前の期の実績（2）直近の会社予想（3）市場予想（QUICKコンセンサス）との比較で分類し、同様の分類パターンが過去、その後の株価にどう影響したかを集計して算出しています。決算スコアのプラスは、当該決算が統計的に株価を押し上げる内容だったことを示し、マイナスは逆に株安につながるケースの多い内容だったことを示します。

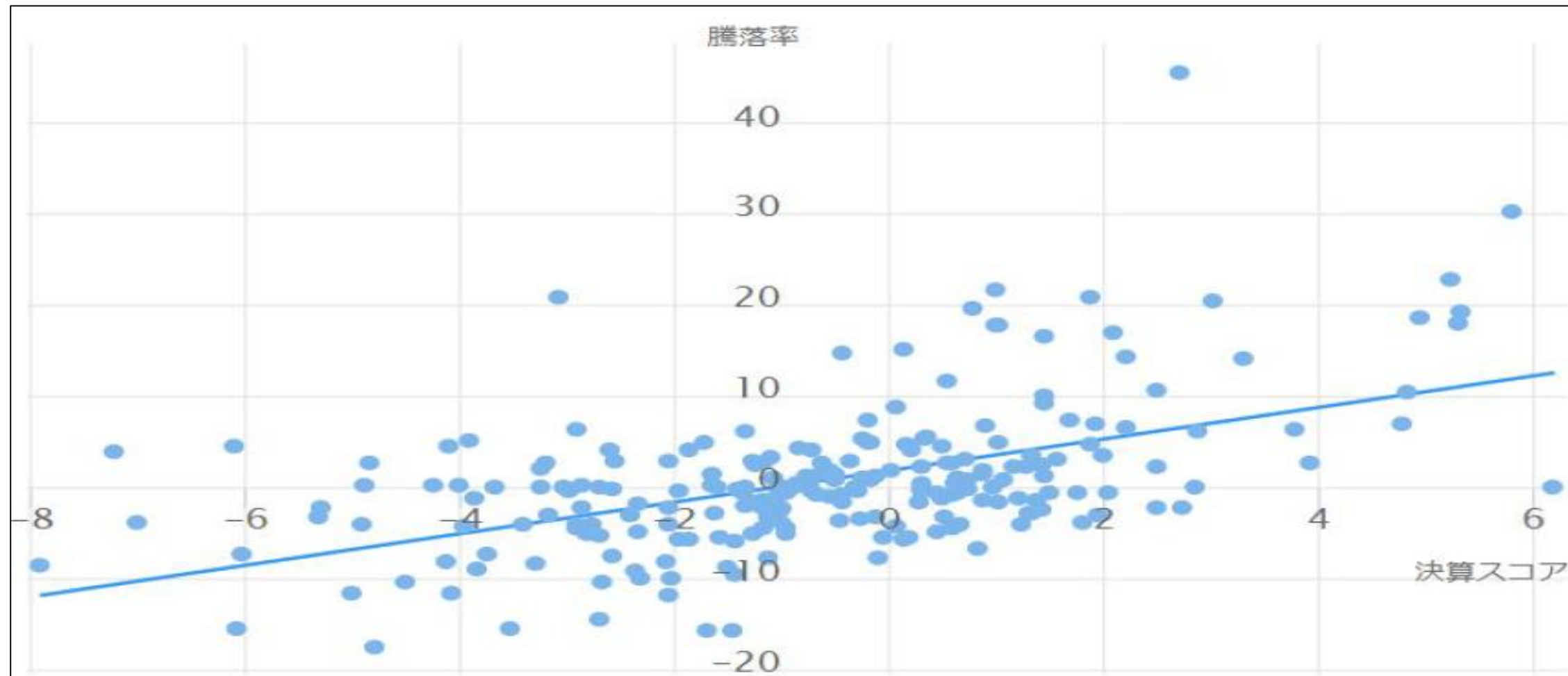
カバレッジ： 国内上場企業  
履歴： 2010/1月以降  
提供頻度： 随時

## 分析レポート:

### QUICK決算スコアを利用した株価騰落予測

縦軸を翌日の株価騰落率、横軸を決算スコアとし、2020/4/5~11の1週間の発表データで分布図を作成し、線形近似を行った結果、決算スコアと株価騰落率には正の相関がみられた。決算スコアの正解率の検証では、決算スコアの絶対値が4.0以上のデータに限定すると正解率は70% (49/70) となった。

決算スコアの算出対象となる東証適時開示は234あり、その内訳は (決算発表 173社、業績修正 61社)



## MRFの日次純資産総額

### 概要:

主要な12MRF(マネーリザーブファンド)の純資産総額を元にQUICK独自に指数を算出し、収録。個人投資家の投資余力を図るベンチマークとしての役割や、投資家のマネーの動きを日次ベースで確認することが出来ます。指数の更新頻度は一日1回。併せて投資部門別売買動向データを見ることで、個人投資家マネーとの連動性や、割安感を相関で見ることにより、個人投資家の動きを把握することが出来ます。

カバレッジ: MRF インデックス = 12のMRF純資産総額の合計値  
12のMRFの内訳 (ダイワMRF、三菱UFJMRF、国際のMRF、野村MRF、日興MRF、新光MRF、MHAMのMRF、日本MRF、東海MRF、三菱MRF、利金・分配金専用MRF、三井住友MRF)

履歴: 日次データ : 2020/2/3~  
月次データ : 2016/5/31~(月末基準)

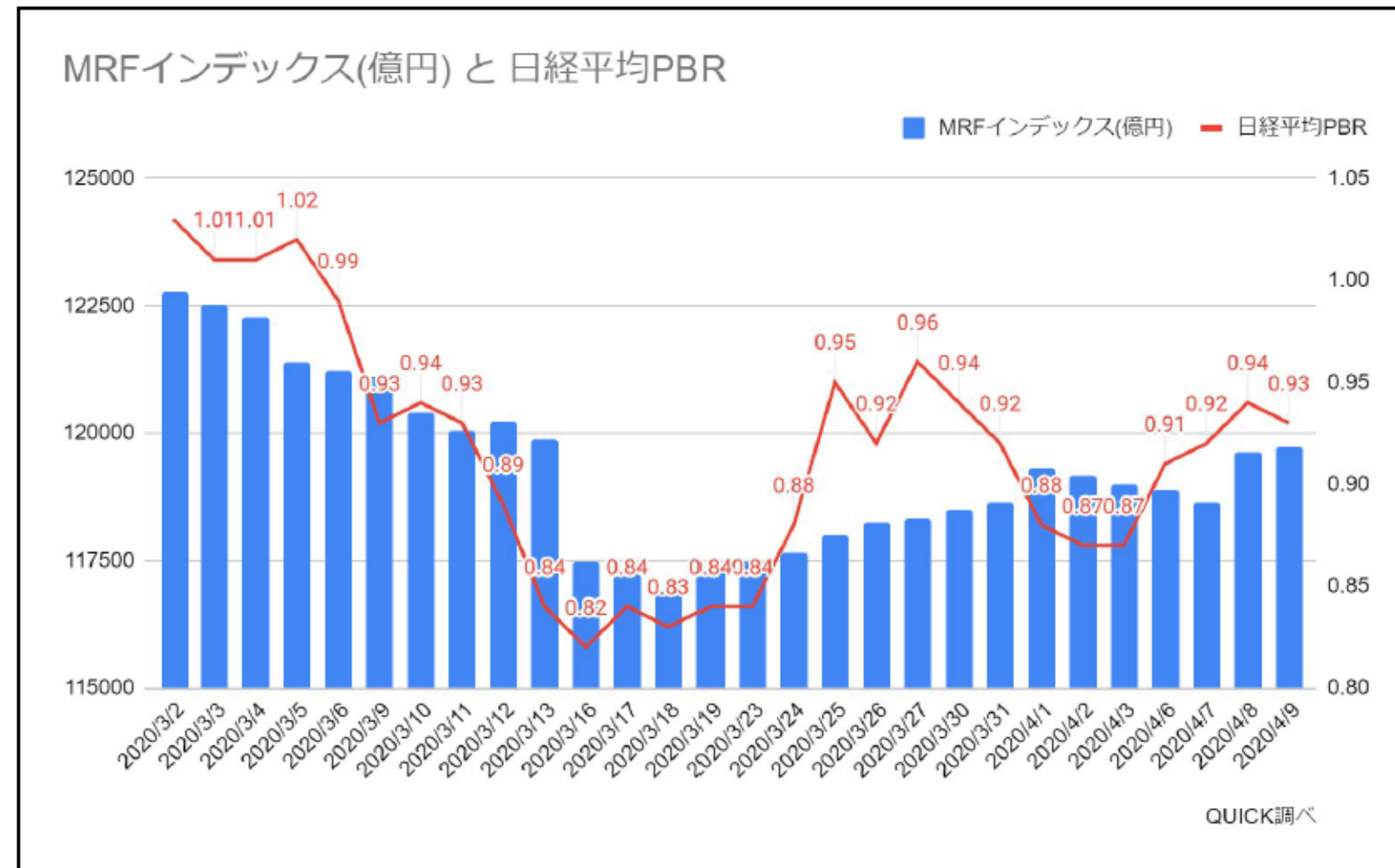
提供頻度: 日次(火~土曜)

# 分析レポート 1: MRFの残高が日経平均PBRと連動



新型コロナウイルスの感染拡大で大荒れとなった株式相場、個人投資家も含み損を抱えて身をすくめていると思われていたが、個人の待機資金であるMRF（マネー・リザーブ・ファンド）の純資産の推移をQUICKが調べたところ、相場急落時にMRF残高が減少する相関関係が明らかとなった。乱高下する株式相場の中で、個人は買いのタイミングを見極めようとしていた。QUICKは国内の主要な12本のMRFについて純資産総額の変化を日次で集計し、独自のインデックスを作成し、マネーの動きに注目した。

2020年3月13日の金曜日、日経平均株価は前日比1,128円（6%）安と今年最大の下げ幅となった。新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正法が成立した日で、これで緊急事態宣言の発令が可能となった。同日の米国株は大幅高となり、投資家の過度な警戒感が和らぐとの見方が広がった。日次ベースでのMRF残高と日経平均PBRを併せることで、日経平均PBRが最小値0.82を記録した日に、MRF残高が大きく減少したことが分かる。

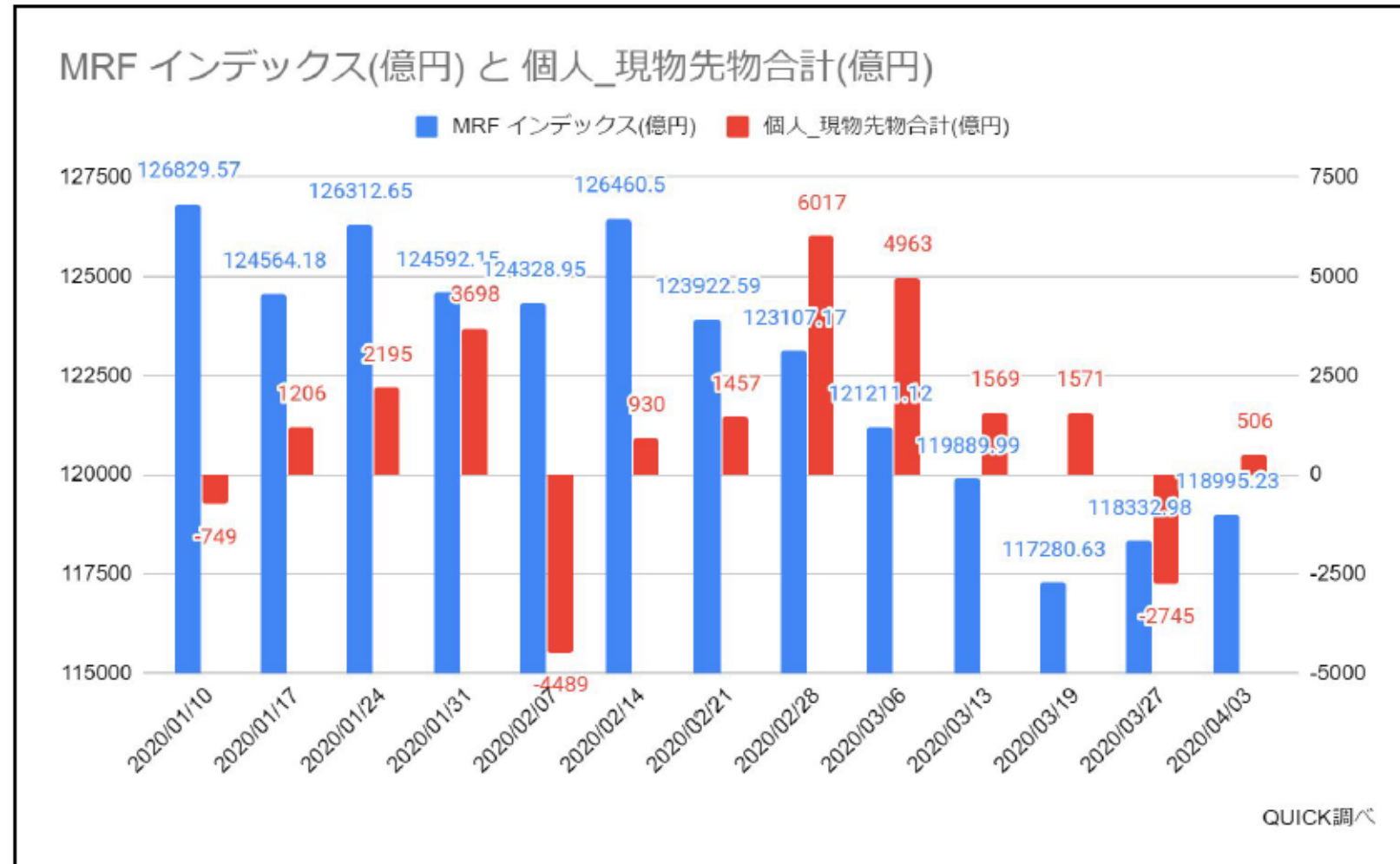


# 分析レポート 2: 個人投資家の動向先行指標としての活用



株価の急落は新たな投資家も呼び込んだ。ネット証券大手のSBI証券は2月26日、口座数が500万を突破したと発表した。松井証券は3月の口座開設数が前月比19%増となり、店舗を構える対面型証券が営業しにくくなる中、証券口座を持っていなかった個人の新規資金がネット証券経由で市場に流入していった。

また、投資部門別売買データを組み合わせることで、個人投資家の現物・先物売買とMRF残高の動向を確認出来る。個人の現物・先物買いが大幅に増加した週以降にMRF残高も減少していくことが見て取れる。MRF残高の減少幅以上に買い越していることから、ネット証券等のニューマネーが流入してきたことが推測出来る大きなマネーの動きが確認出来る。



# Thank you!

山内 康弘

市場におけるデータ分析を活性化、  
QUICKが仕掛ける新しいデータビジネス戦略

CUS-46

# オルタナティブデータ利活用に向けた 業界横断・産学連携の取り組み ～ADSリサーチアソシエーションのご紹介～

笠島 久司

野村アセットマネジメント株式会社  
資産運用先端技術研究部 デジタル企画グループ  
シニア・マネージャー

白熊 ルネ

野村アセットマネジメント株式会社  
資産運用先端技術研究部 先端技術研究グループ  
シニア・データエンジニア



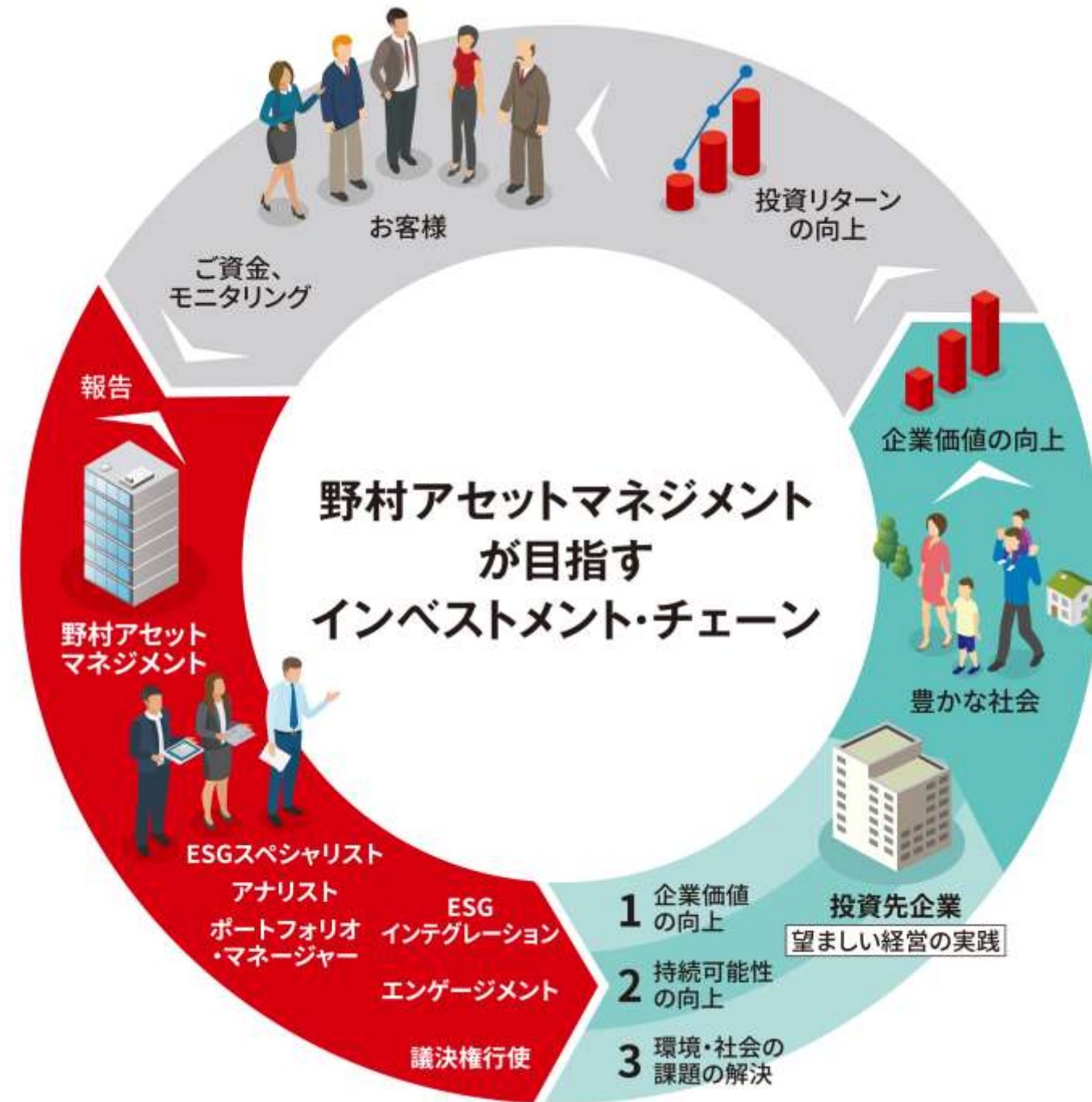
名前： 笠島 久司

所属： 野村アセットマネジメント

資産運用先端技術研究部 デジタル企画グループ

経歴： フィナンシャル・エンジニア  
クオンツ・アナリスト  
ポートフォリオ・マネージャー  
マネージャー

興味： トライボースディアン



# オルタナティブデータ利活用の課題 **NOMURA**

## 提供会社

- POC～契約まで個社別に行うことへの負荷
- 活用ノウハウが少なく、コミュニケーションの場も少ない
- データ販売サービスを始めたいがニーズが不明
- 認知もなく顧客接点も少ないので接点を増やしたい
- 他社が保有するデータと組合せた新サービスの可能性

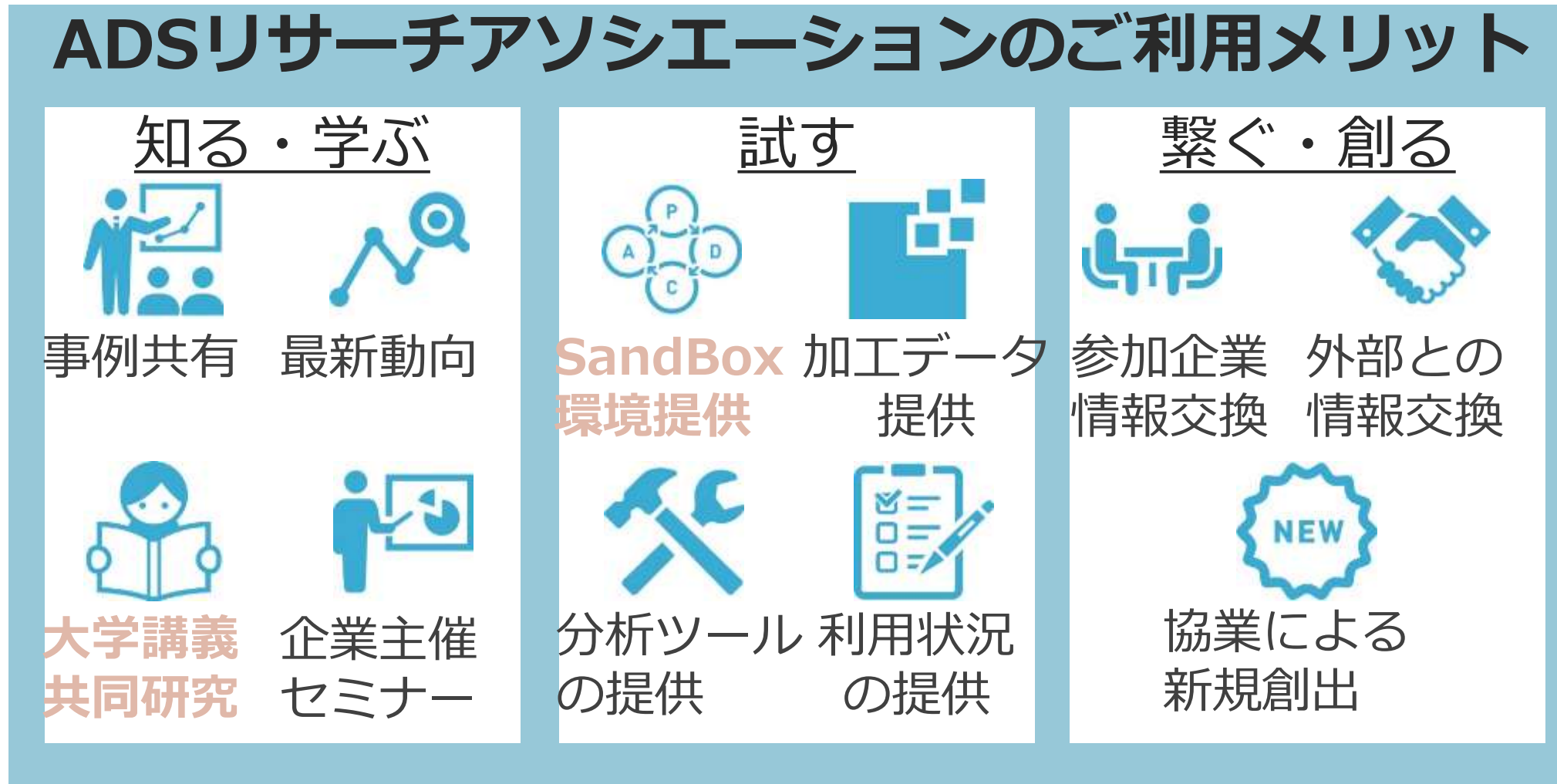
## 利用会社

- データ価値の判断が難しく、費用対効果を説明しにくい
- どんなデータがあるか比較もできず、活用事例も少ない
- データを取り扱える分析人材・IT人材の不足
- データの継続性・連続性が財務データよりも不確実性が高い

# ADSリサーチアソシエーションの設立 **NOMURA**

オルタナティブデータの利活用に向けて、産学連携の共同事業体を立ち上げ金融の高度化、国際競争力の強化、新たな価値や新たな事業の創出を目指す

大学  
提供会社  
利用会社



オルタナティブデータ活用

Expertise to Exceed

名前： 白熊 ルネ

所属： 野村アセットマネジメント

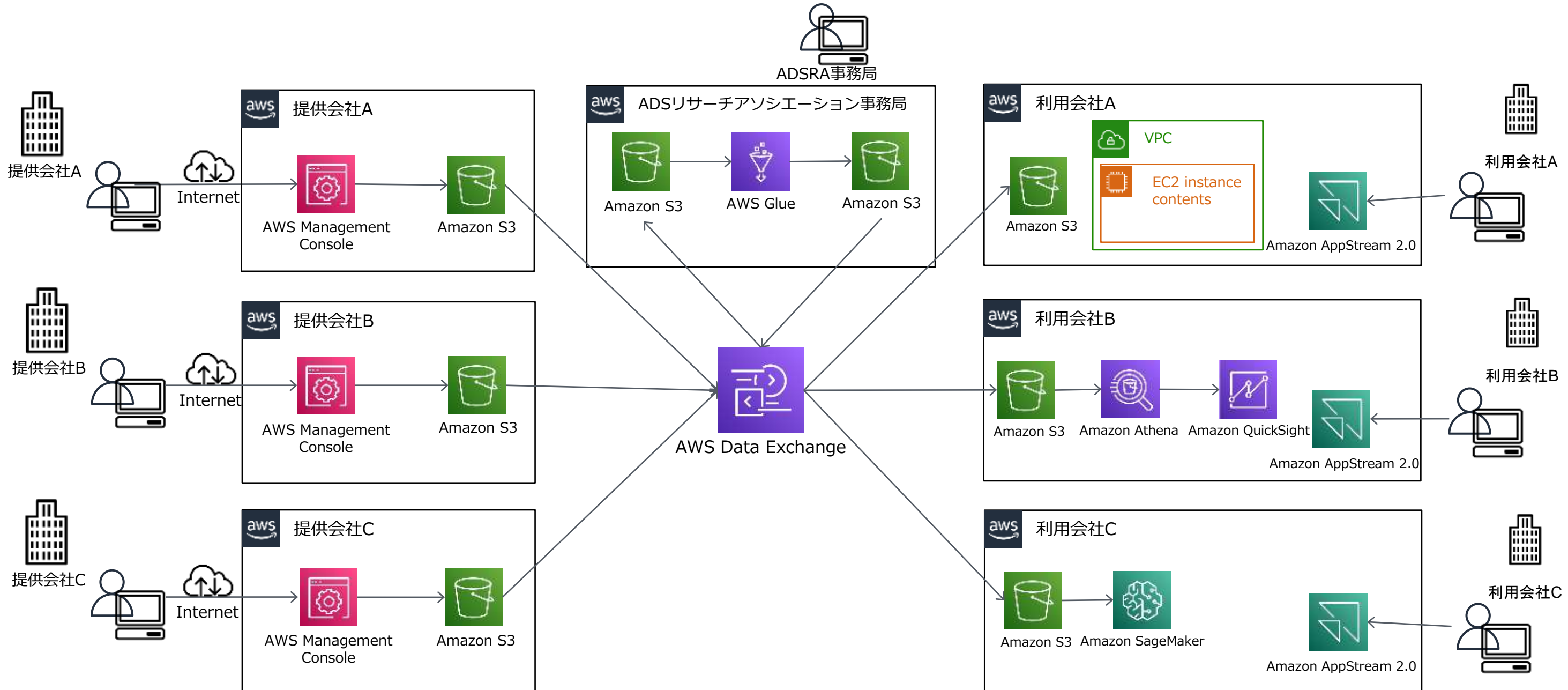
資産運用先端技術研究部データ・マネジメントグループ

先端技術研究グループを兼務

経歴： 金融系システム開発に12年間従事したのち、

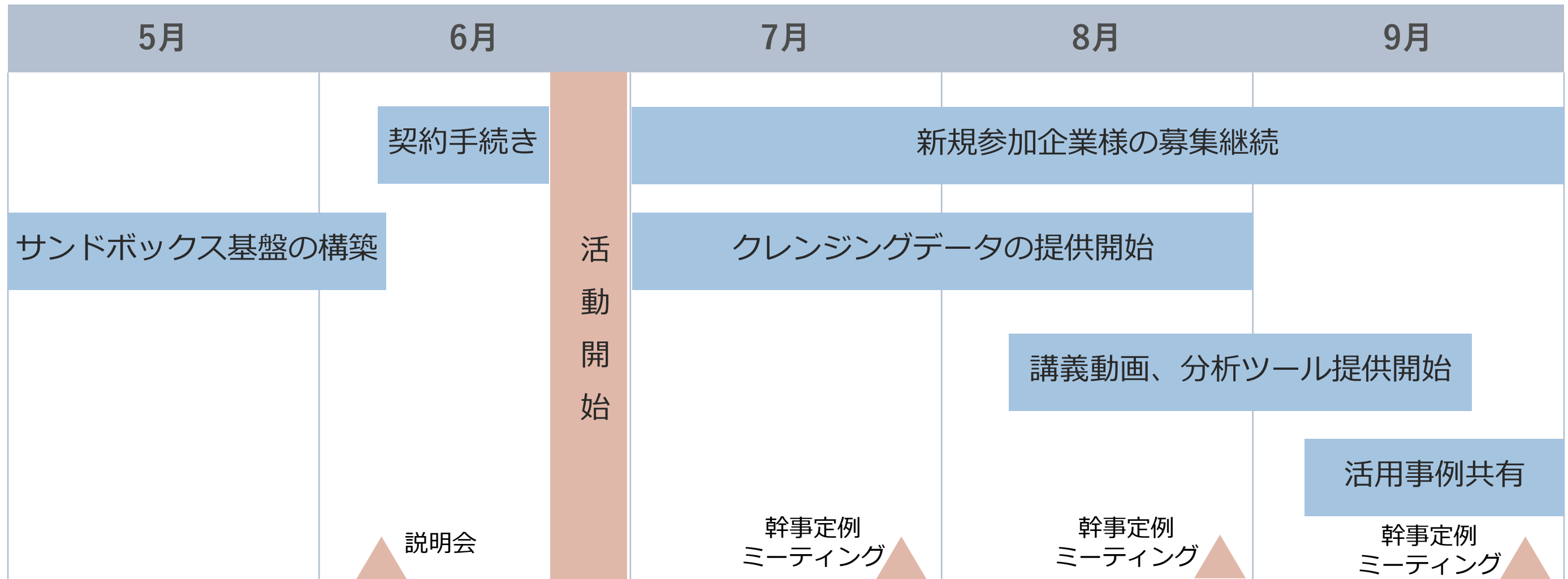
2017年より現職

# サンドボックス基盤のイメージ



# 今後のスケジュール

ADS研究会はADSリサーチアソシエーションの立ち上げに向けて検討を進めています。  
6月中に活動開始のご案内ができるよう尽力してまいります。



ADSリサーチアソシエーションに関するご質問や  
参加希望のお申込みは下記のお問い合わせ先までご連絡ください

メールでのお問い合わせ

[info@adsra.jp](mailto:info@adsra.jp)

# Thank you!

笠島 久司 白熊 ルネ

オルタナティブデータ利活用に向けた業界横断・産学連携の取り組み  
～ADSリサーチアソシエーションのご紹介～